

令和4年度東京都立清瀬特別支援学校経営計画

都立清瀬特別支援学校

校長 古舘 秀樹

I 目指す学校

1 学校目標

児童・生徒一人一人に応じた将来の自立と社会参加に向け、そのもてる力と可能性を最大限に伸ばす学校

- (1) 児童・生徒の人権・健康・安全を守る学校
- (2) 児童・生徒の可能性を広げる学校
- (3) 地域と共に育つ学校
- (4) 説明責任を果たす学校
- (5) 教職員が主体的・意欲的に働くことができる学校

2 教育目標

- (1) 仲間と協力し合い、思いやりの心を育てる
- (2) 社会の一員として、役割を果たそうとする力を育てる
- (3) 学びに向かう力を育て、基礎的な学力の定着を図る
- (4) 豊かな心と健やかな体を育てる

3 組織目標

- (1) チームワーク
同僚性の醸成 協力体制の強化 相互補完の強化 相互研鑽の推進
- (2) ネットワーク
情報の組織的共有・活用 地域社会・関係機関等との組織的連携 人的資源・物的資源の拡充と活用
- (3) フットワーク
組織的な早期対応の実施 慣例に捉われず、積極的な改革の推進 組織としての実行力 率先垂範の意識改革

4 校訓

輝け清瀬の子供たち

か かんがえる子（人）

が がんばる子（人）

や やさしい子（人）

け げんきな子（人）

Ⅱ 中期的目標と方策

- 1 人権や生命を尊重した教育の充実
 - (1) 自己肯定感、互いの尊重、感動できる豊かな心の育成
 - (2) 児童・生徒の人権に配慮した指導の徹底
 - (3) 体罰及びいじめの早期発見の推進・根絶と防止の徹底

- 2 自立と社会参加に向けた指導と支援体制の充実
 - (1) 将来の自立と社会参加までを見通した一貫性・連続性のあるキャリア教育の推進
 - (2) 生活指導・進路指導の充実
 - (3) 就学前機関との連携の充実
 - (4) 地域や各関係機関との連携の充実

- 3 専門性に基づく質の高い指導を行う教育力の向上
 - (1) ICT機器の積極的活用や教材・教具の開発の推進
 - (2) 外部専門員と連携による専門性に基づく質の高い指導力の向上
 - (3) 学校生活支援シート（キャリアパスポートも含む）及び個別指導計画の充実
 - (4) アセスメントに基づく個に応じた指導の徹底
 - (5) 生活単元学習及び作業学習の改善と充実
 - (6) コミュニケーション指導の充実
 - (7) 学習指導要領に基づく指導の充実

- 4 地域や関係諸機関との連携と開かれた学校づくりの推進
 - (1) センターの機能の発揮と特別支援教育の推進
 - (2) 教育相談の充実
 - (3) 学校公開、施設等開放、公開講座の充実
 - (4) 大規模災害に対応した地域、関係諸機関との連携の推進
 - (5) 就学前・就学後の各関係機関との連携の充実
 - (6) 東久留米特別支援学校との連携による一貫性、系統性、継続性のある教育の推進
 - (7) 高等学校との連携による特別支援教育の推進
 - (8) 交流及び共同学習の推進
 - (9) 東村山福祉園との連携の充実

- 5 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実
 - (1) 医療的ケア、感染症対策、食の安全等の視点にたった教育環境の充実
 - (2) 学校事故防止に向けた教育環境の整備・充実
 - (3) 施設設備の計画的補修整備、改善の推進

- 6 体力の向上等に向けた指導の充実
 - (1) 体力向上に向けた取り組みの推進
 - (2) スポーツ活動の推進
 - (3) 芸術文化活動の推進

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 人権尊重教育の推進

- ア 自己肯定感・自尊感情や互いを思いやる気持ちの育成（全教育活動を通じて）
- イ 人格を否定する呼称、乱暴な態度・ことば、追い込む指導等の禁止
- ウ 呼名では、「さん」呼びの徹底
- エ いじめ防止基本計画に基づく対応の徹底

(2) 学習指導の充実

- ア デジタル技術を活用した教材・教具の開発及び活用の推進
- イ 外部専門員との連携による個に応じた指導の充実
- ウ 児童・生徒の実態に応じたアセスメントの実施
- エ 個別指導計画にアセスメントの結果(キャリア教育の視点を含む)の反映とそれに基づく指導の実施
- オ 分かりやすい教育の推進（構造化・ワークシステム・コミュニケーション）
- カ 就学前からの円滑な引継ぎと卒業後までの根拠に基づく一貫性のある継続的・系統的な指導の充実
- キ 中学部の東久留米特別支援学校と連携・接続した作業学習の改善・充実
- ク 観点別評価を取り入れた教科学習の取組み
- ケ 体力向上の推進及び障害者スポーツの推進・芸術活動の推進

(3) 進路指導の充実

- ア 小・中からの高等部及び卒業後の自立と社会参加を視野に入れた一貫したキャリア教育の実践
- イ 地域資源を活用した進路指導の充実
- ウ キャリアパスポートの内容を含めた学校生活支援シート及び個別指導計画の充実

(4) 生活指導の充実

- ア 基本的生活習慣の確立、身辺自立、身だしなみ、マナー、時間厳守等の指導充実
- イ いじめに対する早期発見の徹底
- ウ 発達段階に応じた計画的な一人通学の推進充実
- エ 登下校時における安全指導の徹底
- オ ヒヤリハット事例報告の実施による意識向上における校内事故防止の徹底
- カ SNS、情報機器の清瀬ルールの徹底
- キ セーフティ教室・不審者対応訓練・犯罪被害防止策の推進 [安全教育プログラム活用]
- ク 大規模災害の対応等の危機管理体制の構築及び安全に生活できる環境整備の徹底
- ケ 東村山福祉園との緊急時協力体制の充実
- コ スクールバス安全運行に関する取組みの推進

(5) 交流及び共同学習の充実

- ア 研究指定：特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進
- イ 副籍制度の充実
- ウ 地域活動への積極的参加
- エ 学習指導要領に基づく交流及び共同学習の推進

(6) 健康・安全づくりの推進

- ア 医療的ケアへの対応の充実
- イ 感染症対策の徹底
- ウ 自他の健康に留意して生活する能力と態度の育成
- エ 栄養士・養護教諭との連携による食育の充実
- オ プール事故に対応する訓練の充実・AEDの使用法の推進
- カ 校内支援委員会の充実と食物アレルギーへの対応の徹底
- キ 事故に対応する訓練の充実
- ク 地震・水害等の危機管理体制整備

(7) 体力の向上及びスポーツ教育・芸術教育の充実

- ア 「TOKYOACTIVE PLAN for students」総合的な子供の基礎的体力向上方策の基づく、全児童・生徒の体力の向上
- イ 芸術文化活動の推進

(8) センターの機能の発揮

- ア 通学区域3市の特別支援学級等との連携による特別支援教育の推進
- イ 市教育委員会との連携によるセンター的機能の発揮
- ウ ホームページによる情報発信公開の推進強化

(9) 地域・関係機関との連携と開かれた学校づくりの推進

- ア 地域との結びつきを深める活動の推進
- イ 学校の積極的な情報発信

(10) 学校環境の整備

- ア 安全・安心な学校環境の整備
- イ 学びを深められる学校環境の整備
- ウ 仮校舎移転に向けた学校環境の整備

(11) 適切な学校経営

- ア 同僚性（相互援助・相互補完・相互研鑽）を高めた組織の形成
- イ 主幹教諭・主任教諭・教諭の職層に応じた積極的に学校経営への参画の推進
- ウ 児童・生徒事故の徹底した防止
- エ 服務事故の徹底した防止
- オ 適切な情報管理と積極的な情報発信
- カ 教職員のライフ・ワーク・バランスの推進（超過勤務の削減、育児休業の取得の推進）

(12) 適切な予算執行等

- ア 経営企画室の学校経営への参画の推進
- イ 自律経営推進予算の効率的な執行
- ウ 備品・消耗品等の仮校舎移転を考慮した購入・配布
- エ 学校徴収金への全面的経営企画室関与及び私費会計に関する教育職員の理解促進
- オ 就学奨励費事務の適正処理

2 重点目標と方策（数値目標）

（1）人権尊重の教育の推進

- 人権教育に関する研修会の実施：年間各学期1回の実施
- 体罰の排除の徹底：体罰事故 0
- いじめの早期発見（いじめチェックリスト実施）SOSの出し方に関する教育の推進：授業年間3回

（2）学習指導の充実

- ICT機器を活用した授業実践の推進（タブレット端末や情報機器の使用）：100%（一人一活用実践）、代表者9名によるカフェテリア研修：年間1回
- アセスメント方法を用いた児童・生徒の実態把握の実施：100%（対象児童・生徒）
- 個別指導計画にアセスメントの結果の反映：100%（対象児童・生徒）
- 個別指導計画にキャリア教育の視点の盛り込み：100%（全児童・生徒）
- 保護者の個別指導計画に関する満足度：70%以上（学校アンケート）
- 保護者の授業内容の充実に関する満足度：70%以上（学校アンケート）
- 東久留米特別支援学校と連携・接続した作業学習の研究授業：年間1回
- 学校生活支援シートや引継ぎシート、個別指導計画を活用した指導の充実：100%（全児童・生徒）
- 3観点による学習評価に基づく教科学習の取組み（指導案、記録、要録）：100%（全児童・生徒）

（3）進路指導の充実

- 小学部における働くことをテーマにした学習と中学部における作業学習の推進：100%（全児童・生徒）
- 地域資源（校門前歩道植樹帯、団地・緑地）を活用し、感謝される学習活動の実施
- 小学部・中学部教員を対象にした進路研修の実施：年1回以上
- 全生徒、保護者への積極的進路情報の提供：月1回程度
- 小学部・中学部保護者への進路研修の実施：年間2回程度

（4）生活指導の充実

- いじめチェックリストの実施：年間3回
- セーフティ教室の開催：年間1回
- 不審者対応訓練：年間1回
- 中学部1年生対象の大震災等を踏まえた宿泊防災訓練の実施：年間1回
- 校内安全点検：月1回
- 教育環境整備、校内美化の点検：学期1回
- 東村山福祉園との連絡会の開催：学期1回、合同防災訓練の開催：年間1回
- スクールバス乗務員への研修会実施：年間5回

（5）交流及び共同学習の充実

- 特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流：年間2回以上
- 副籍事業における直接交流希望者の直接交流の実施：年間2回以上

(6) 健康・安全づくりの推進

- 医療的ケアへの対応の充実に向け、医ケア安全委員会の実施：委員会5回、訓練3回実施
- がん教育・歯科保健指導の実施 各部年間授業1回
- 摂食指導の実施
- 栄養士・養護教諭との連携による食育教育の実施：各学部年間1回
- プール事故に対応する訓練・AEDの使用方法的訓練：年間2回
- 食物アレルギーに対応する訓練の実施：各学期1回
- 事故を想定した緊急対応訓練の実施（搬送、救急法、消火器、プール等）：年間2回以上
- 地震・水害・感染症等の危機管理体制整備の見直し及び訓練の実施

(7) 体力の向上及びスポーツ教育・芸術教育の充実

- 「TOKYOACTIVE PLAN for students」総合的な子供の基礎的体力向上方策の基づく体力の向上：100%（全児童・生徒）
- 芸術文化発表等の場へ参加の推進：250作品以上

(8) 特別支援教育のセンター的機能の充実

- 通学区域3市の特別支援学級と連携した特別支援教育研修会を開催：年間1回
- 特別支援教育コーディネーターによる地域の特別支援学級との連携：各学級1回の以上の訪問
- ホームページによる特別支援教育に関する情報発信：月1回以上

(9) 地域・関係機関との連携と開かれた学校づくりの推進

- 地域との結びつきを深める地域の緑化活動、団地清掃、各機関等との連携活動：年間10回以上
- ホームページのリニューアル及び適宜更新：年間250以上

(10) 学校環境の整備

- 適切な感染症の対策に向けたチェックシートによる環境整備の推進：100%
- 児童・生徒事故の未然防止に向けたチェックシートによる環境整備の推進：100%
- 仮校舎移転に向けたチェックシートによる教室内不要物品廃棄及び購入備品の精査：100%

(11) 適切な学校経営

- 管理職のイクボス宣言：100%
- 校内におけるOJT役の明確化（メンター・メンティー）と実施：100%
- 主幹教諭・主任教諭・教諭の職層毎の運営案の提案制の推進：100%
- 児童・生徒事故の撲滅に向けた研修の実施：年間3回以上、事故0件
- 服務事故の撲滅に向けた研修：年間3回以上 事故0件
- 適切な情報管理と積極的な情報発信：研修実施年間3回以上 情報発信各メディア合計300回以上
- マイ定時退庁日を設定し、月45時間以上の超過勤務者の削減：年間平均45時間以上の超過勤務者0%

(12) 適切な学校経営及び適切な予算執行

- センター執行率60%以上目標
- 予算調整会議年間：3回実施
- 経営企画室による予算執行関係の研修会：年間2回
- 就学奨励費事務の誤支給等の防止：事故0回